

柏葉

第52号



八女市立福島中学校

平成二十五年度学校関係者評価委員会報告



校長 松野 昭人

学校関係者評価について

学校の裁量が拡大し、自主性・自律性が高まる中で、平成十九年六月に学校教育法が改正され、各学校がその教育活動で自己評価することが義務づけられました。学校が行う自己評価をもとに教育活動の成果と課題を検証し、必要な改善を行い、より良い教育活動を推進していくことが目的です。また、学校が行った自己評価結果の妥当性等を検討する組織の一つが学校関係者評価委員会です。各学校の自己評価結果等をその学校の関係者に公開・説明を行うことにより、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めていこうとするのが学校関係者による評価です。本校では、毎年二回、前期末と後期末に自己評価および学校関係者評価委員会を行っています。

本年度は福島小学校ならびに長峰小学校の校長先生、福島中学校PTA会長様を含め六名の皆様に本校の学校関係者評価委員会をお願いしています。

また本校では、評価項目を二十六の項目を含む次の五つの大きな項目に分け、評価を行っています。評価は、4(良好)3(概ね良好)2(やや課題あり)1(課題あり)の四段階評価で行っています。

その五つの大項目ごとの本年度の本校の自己評価結果(前期分・後期分)と評価委員の皆様の評価結果(前期分)および意見(前期分)は次の通りでした。

①：生きる力 学力の充実

○前期自己評価：三・二七
○評価委員評価：A(妥当な評価)
○後期自己評価：三・一五

関係者評価委員の皆様への意見

○学内の目標に対し、生徒の達成度も高く充実していることが確認できた。
○教職員の共通理解のもと学力向上に取り組みされている様子が見えます。具体的な数値目標等あればもっと客観性が増すと感じます。
○人権作文などもしっかりと教育をされている。
○プロジェクトを各教室に配置され、デジタル教科書などを活用して教育効果を高められているのがよいと思つた。さらなる効果を期待しています。

○学力の定着がみられ、落ち着きのある学校が形成されています。更なる学力向上を期待します。

②：豊かな人間性の確立

○前期自己評価：三・〇五
○評価委員評価：A(妥当な評価)
○後期自己評価：二・九二

関係者評価委員の皆様への意見

○聴く態度の育成を中核に据え、生活習慣の改善が図られていると思つています。小学校でも道徳の授業改善に取り組んでいるところがあります。

③：安全な生活・健康体力の増進について

○前期自己評価：三・二七
○評価委員評価：A(妥当な評価)
○後期自己評価：三・二三

関係者評価委員の皆様への意見

○校内研等(教科相互の研修等)が知られた部分も残りまし

○「地域の一般の来校者に対して学校関係者各自が気持ちよく受け入れる姿勢を持つているか」も大切なことだと思つています。

○どの項目も高い評価でよいと思つています。家庭学習の習慣化と充実が小中の共通した課題として取り組んでいきたいと思つています。

④：開かれた学校・教育活動の展開について

○前期自己評価：三・二五
○評価委員評価：A(妥当な評価)
○後期自己評価：三・二三

関係者評価委員の皆様への意見

○小中連携の部分で今後具体的な推進課題を設定する必要があると思つた。

○小学校では中学校の課題や取組をもっと意識し日常の実践につなげていく必要を感じた。

○教育の小中連携は当然であるが、各自の人間関係の連携はどう考えてあるのか。

○特色ある学校を福中の校訓をテーマにして運動を望む。

○小中連携の推進を期待します。

○小中連携の部分は後期に期待します。

⑤：小中学校の連携教育の推進・特色ある学校づくりについて

○前期自己評価：三・一五
○評価委員評価：A(妥当な評価)
○後期自己評価：三・一一

関係者評価委員の皆様への意見

○中学生という難しい時期でもあるが、生徒の積極性を伸ばす取り組みを増やして頂きたい。

○前期の評価が、課題の解決やよい取組のさらなる充実につながることを期待しています。

○小項目の評価で、不十分と答えたのが0%でした。先生方の自信が生徒たちにも伝わり、安定した学校生活を送れていると思つています。

⑥：小中連携の推進・特色ある学校づくりについて

○前期自己評価：三・一五
○評価委員評価：A(妥当な評価)
○後期自己評価：三・一一

関係者評価委員の皆様への意見

○小中連携の部分で今後具体的な推進課題を設定する必要があると思つた。

○小学校では中学校の課題や取組をもっと意識し日常の実践につなげていく必要を感じた。

○教育の小中連携は当然であるが、各自の人間関係の連携はどう考えてあるのか。

○特色ある学校を福中の校訓をテーマにして運動を望む。

○小中連携の推進を期待します。

○小中連携の部分は後期に期待します。

○中学生という難しい時期でもあるが、生徒の積極性を伸ばす取り組みを増やして頂きたい。

○前期の評価が、課題の解決やよい取組のさらなる充実につながることを期待しています。

○小項目の評価で、不十分と答えたのが0%でした。先生方の自信が生徒たちにも伝わり、安定した学校生活を送れていると思つています。

新体力テストの記録 (2年)

種目	①握力(kg)	②上体起こし(回)	③長座体前屈(cm)	④反復横とび(回)	⑤持久走(秒)	⑥50m走(秒)	⑦立ち幅跳び(cm)	⑧ハンドボール投げ(m)
本校記録()内は福岡県標準記録	男子 30.00kg (29.42kg)	29.65回 (26.52回)	45.58cm (42.27cm)	54.93回 (50.52回)	428.59秒 (397.62秒)	7.87秒 (8.06秒)	202.77cm (194.40cm)	21.16m (20.88m)
	女子 26.32kg (23.71kg)	23.95回 (21.11回)	45.91cm (43.60cm)	47.98回 (44.05回)	303.28秒 (303.00秒)	8.75秒 (8.99秒)	180.70cm (164.87cm)	13.07m (12.54m)

○小中連携の具体的な活動、テーマ(会話力、読解力、電話対応など)
○何度か学校を訪問しましたが、学校全体が落ち着いて学習が進められていると感じました。
○各教室にエアコンが入ったことは学力アップにつながると思つています。